

示

五年 画数 5
筆順 ニ・示
オ・シ
シ・シ
しめしす

成り立ち



神さまにお供えする物をのせる台の形を表した字です。神さまにお供え物をしていのり、「神意を「しめし」てもらう」ことを表した字です。

今では、単に「しめす」という意味に使われます。

「神意を示す」【例】啓示、黙示、示現。

「示す」【例】指示、暗示、揭示、示威、示唆。

「この台は三脚である。三脚は四脚よりも安定性があって、決してゆらぐことがないからである。」

使い方

▽地図に示されている通りに行ったのですが、どうしたわけか、道に迷ってしまいました。

▽午前には終えたいと思っていた仕事をやっと終えて、時計を見たら、針はちょうど十二時を示していました。

熟語例

▽啓示（神が、人に、人間の力ではとてもわからないような事を示し、「さとらせる」こと。）

▽黙示（啓示のこと。黙は「沈黙（たまっていて）」の意味。ことばによって示すものでないから、「黙」と言うのです。）

▽指示（指でさし示すこと。「さしず」の意味に使われます。【例】早く報告するように指示した。）

▽暗示（暗は「くらい」ことで、「はっきりしない」意味。はっきりと示さないで、それとなく示すこと。また、「無意識のうちにある事がらを信じこませる」ことの意味にも使われます。）

▽示威（威力を示すこと。【例】自分たちの要求をおすために示威運動（デモンストレーション）をした。）

似

五年 画数 7
筆順 似
オ・シ
に・似

成り立ち



「人が「すき」もしくは「くわ」を持って働いている形」を表した「以（4450）」と、「イ（えん）」を組み合わせた字です。

人が二人、並んで畑仕事をしているすがたを表した字で、そのすがたがよく似ているところから、「にる」という意味を表したものです。【例】類似、近似、酷似。

また、「似せる（まねる）」という使い方もします。

使い方

▽ぼくは、お父さんよりもお母さんに似ているそうです。妹はその反対で、お母さんよりもお父さん似だと言われています。

▽有名な品物にはすぐ似せ物が作られます。本物に酷似して、見分けが付きません。

熟語例

▽類似（類は「よく似た仲間」。よく似ていること。【例】類似の粗悪品があるので注意して下さい。）

▽近似（近は「本物に近い」という意味。本物に似ていること。【例】円周率の近似値は、三・一四です。）

▽酷似（酷は「程度がひどい」こと。ひどくよく似ていること。見分けがつかないほどよく似ていること。）

▽似せ物（本物によく似せて作った物のことです。本物でない物を「偽」と言いますから、「偽物」とも書きます。）